

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会 編集「明日にむかって」編集委員会 発行日 2022年11月8日
住所 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町5-3 ☎03-3959-1675(陽光会本部)
社会福祉法人陽光会 HP <http://youkou-kai.com>

98号

2歳児クラスの子どもの間で密かに(?)流行している言葉「オーマイガー!」。数名のお母さんから「うちの子最近オーマイガーって言うんです」と聞き、「どこで覚えたんだろうね」なんて会話をしていました。……そういえば同じクラスのT君が夏にお父さんの実家(イギリス)に帰っていました。もしかしたらと思い、T君のお母さんに聞いてみると、「イギリスで英語を覚えて、『オーマイガー!』は気に入って、今も家族で使っている」と教えてくれました。それで、2歳児の子どもの間で密かに流行していたんだとわかり、T君のお母さんと大笑いしました。どんなことでも吸収して楽しいことはみんなと共有していく子どもたちを大人も見習いたいと思います。違いを受け入れ認め合える関係は子どもたちから多く学びます。(A・S)

続 子どもの世界

～桜台第二保育園～

2歳児 — 明日は「在宅」

「明日お休みかな」という保育士の問いかけに、「ちがうよ、ざいたく(在宅)で一す」とAくん。コロナ禍ならではの、会話ですね。

3歳児 — 古い(?)トミカ

事務所にあるトミカ(ミニカー)を見つけて、「これなに?」とBちゃん。Cちゃん「ドロボウの車だね」Bちゃん「えっ?ドロボウ?」Cちゃん「ちがうよ。ポロボロの車」「ぼくちにはないよ」

2歳児 — 赤ちゃんは売り物?

赤ちゃん人形を使って遊んでいる子がいて、いつもの場所に赤ちゃん人形はありませんでした。そこへ、赤ちゃん人形が欲しくてやってきた2歳児のDちゃん。「赤ちゃん……売り切れちゃったね」お友だちと顔を見合わせて残念そうでした。

5歳児 — けなげです

竹馬の練習をしていたEちゃん、「竹馬ってさ、こんなに足が痛いて思わなかった。でもたくさん歩けると、うれしい」



0歳児の子どものおもちゃも砂場あそび。小さくてもお友だちといっしょがよい。どろんこになってご満悦!

保育園を選ぶとき、自宅からの距離や、保育時間、はもろろん重要視しましたが、一番の決め手になったのは保育内容です。人間としての土台を築く6年間の保育園生活で、保育園時代にしかできない経験や体験をたくさんしている保育園がいい!と陽光保育園を選びました。近隣保育園の入園前の見学でも、保育内容について保育士さんたちにたくさん質問させてもらいました。両親ともに保育者ということもあり、私自身保育園に対する見方は、保育士さんたちから学ばせてもらっています。私は陽光保育園を30年ほど前に卒園しました。当時は楽しく保育園に通っていたのですが、いまでは2人の元気な男の子を陽光保育園に通わせるパパになりました。そんな私の「わが子の保育園えらびのキメテ」について書かせていただきます。結論から申しますと、キメテは「陽光保育園の保育方針に共感している」ことに尽きます。実はわが子の名前には、偶然にも長男は「陽」、次男には「光」の字を使っています。2人とも「明るくのびのび育ってほしい」と願っています。

私も卒園児

中山拓己(在園児保護者)

泥んこの服の洗濯は大変ですが、いっぱい遊んだ証! 我が子と一緒に風呂場での洗濯ごっこもコミュニケーションの一つです。「今日何して遊んだの?」「こうやってジャンプしたの」と保育園での出来事を教えてくれます。これからは、保育園のみならず一緒に家庭ではできない経験や体験をたくさんやってほしいと思います。

キメテは保育内容

梶原ゆい(在園児保護者)

2023(令和5)年度4月からの保育園「入園申込」が始まっています。この時期、たくさん保育園の中から、どこをポイントに選んだらいいのか……迷っている方も多いのではないのでしょうか。そこで、陽光保育園在園児・卒園児の保護者の方にお話をうかがってみました。

我が家の保育園えらびの「キメテ」

★私たちが陽光保育園を選んだワケ

方が少し偏っているかもしれないですが、希望がかなわない、無事に陽光保育園に入園しました。

小さな砂場でのダイナミックな泥んこ遊びや歌声響くリズム。晴れた日は散歩へ出発し、保育士も全力で子どもたちと遊んでいて楽しそう!! と連絡帳や保育日誌を読んでうれしく思います。

親子そろって大ファン

殿岡千尋(卒園児・在園児保護者)

現在小学校2年生の長女が1歳のときに陽光保育園に入園しました。実は第一希望の保育園は落ちてしまっていて、陽光は第二希望でした。第二希望で入った陽光でしたが、通ってみるととても素晴らしい保育園で、ここに入れて良かったと最初の1年で思いました。



猛暑が過ぎ去り気持ちのよいお天気のある日、2歳児の子どものおもちゃも砂場にでてたくさん遊びました。砂場の大きな穴に大量の水を入れて



年長さんといっしょに育てたじゃがいもを収穫後、協力してじゃがいもを洗いました。4歳児クラスの子もたち



お散歩中の1歳児。トンボがたくさん飛んでいて、「誰の指にとまるかな?」



近所の広場で竹馬の練習をする5歳児クラスの子どものたち。足が痛いという子に、「少し休んだら?」と保育士。「がんばりたいんだよ、かもしかだから」と竹馬をつづける子。「かもしか」は5歳児クラスの名称です

子どもたちが何気なく歌っている歌や楽しそうに踊っているリズム。その一つ一つが子どもの発達に必要な動きなんだと後で聞いて驚きました。年長さんになって書き始める子も出てきますが、陽光の保育

土さんは褒めたりしないそうです。何でなのか。字を褒めると子どもたちは絵を描かなくなってしまうようで、絵で子どもの発達を見ているので絵が重要なんですと教えてもらいました。

すべての保育に深い意味がある。保育士の皆さんの高いレベルの保育に感動しました。そして知識だけではない子どもたちへの深い愛情。陽光は一人一人の個性を受け入れ、光を当ててくれる、まさにお陽さまみたいな保育園です。昨年生まれた次男は絶対に陽光に入れたかったので、0歳から入園しました。今では親子そろってすっかり陽光の大ファンになりました。

お知らせ

これまで地域のみなさまにご愛顧いただいていた年2回のバザーが、コロナ禍により実施できなくなって3年目を迎えました。代わりに財政活動として、園内で職員がデザインした絵柄手ぬぐいや手作りリクエストサイラー、Tシャツやお菓子の販売をし、施設設備費に充当しています。外部販売には至らず申し訳ないのですが、ご了承ください。



◆利用日・利用時間など
●月曜日～金曜日の9時～17時(土・日・祝日・年末年始休)
●1歳児以上で、離乳の完了しているお子さんから利用できます。板橋区発行「すくすくカード」の利用も可能です。
●一日1時間～8時間。ご希望の時間帯で利用できます。
◆お申し込み・お問合せ
●直接、陽光保育園へ。
(03)56-1068、受付時間10時～17時
●緊急時以外は、なるべく利用される10日前までに申し込んでください。
●事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます(親子でおいでください)。利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問い合わせください。

●陽光保育園● 親子でいっしょにあそびましょう

今年度はあと5回です。
11月15日(火) 12月20日(火)
1月17日(火) 2月21日(火)
3月7日(火)
*動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。詳しくは下記までお問合せください。
☎03-3956-1068

ごあんない

- 陽光保育園
●共育講座「知るとどんどん見えてくる。みんなのジェンダー」
講師 花田満乃先生
日時 11月26日(土)10時～11時30分
オンライン開催
- 参加対象 在園保護者・職員・地域の方(お問い合わせは陽光保育園へ)
- ただじゅん公演 11月16日(水)
- 荒馬座ミニ公演 12月14日(水)
- 北町保育園
●人形劇団ブーク観劇 12月7日(水)
- 新年を祝う会 1月12日(水)
- 荒馬座ミニ公演 2月15日(水)
- 桜台第二保育園
●お楽しみ会 12月10日(土)
- 新年のついで 1月18日(水)
- 板小あいキッズ
●おたのしみ会 12月23日(金)
- 最近コロナ禍は沈静化し、さまざまな面で規制緩和されていますが、一方で第8波がいつ到来するか不安な状況でもあります。各行事にお客さまをおよびできるかどうかは今後の推移によりしますので、ご了承ください。
- 陽光会後援会
●後援会の行事等は未定です。

コロナ禍のなかでの保育と職員体制

●陽光保育園●

どんなときも 安心して運営できる制度に

2年前の春、学校は休校、社会ではリモートでの仕事が始まり、世の中全体の動きが止まったとき、保育園は休園にはなりません。そのとき「子どもたちの居場所がなくならなくてよかった」と思いました。子育てするすべての人が悩みながら過ごすなか、子どもたちが、子どもらしく過ごせる場をなくしたくないと強く思いました。

職員もコロナに感染したり、濃厚接触者になり休まざるをえない一方で、消毒などの業務が増えました。開園を継続できるように休んでいる職員の穴つめをするために1週間のうち早番や遅番の当番が続いたり、有資格者の数を守るために出勤が増えたりしました。休みの職員が増え、振替休日すら取れない……

●北町保育園●

ゆとりある職員体制の公的保障を

今年度は4月当初から休園を繰り返して保護者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。子どもも職員も感染が続き、また職員の子どもが通っている保育園が休園になるなど、感染してはじめても出勤できない状況が。出勤できる職員で連携をとりながら練馬区保育課や保健所の指導のもと、できる限りクラスごとの保育、乳児と幼児を分けた保育体制をとりました。職員体制が厳しい日には夕方の合同保育になる時間が早まることもありました。

子どもたちと過ごす保育を大切にしつつ、安心安全に過ごすためには清掃と消毒も欠かせません。用務の職員を中心に園内を繰り返し清掃・消毒していただきました。また、おもちゃなどの消毒も午前と午後のほか、子どもたちが帰った後にも行い、現在は夕方の職員を増やして対応しています。

今後はゆとりのある職員体制で保育を進められるよう、また清掃・消毒などの業務が増



上：散歩中、きれいに刈られた草の上で思わず寝ころびました。3歳児
下：ピアノやお友だちの声に合わせて歌うって楽しい。5歳児

拡大版



▶初めてのスイカ割り。目隠しの手ぬぐいには穴を開け、前が見える仕掛け。3歳児
▲0歳児。絵本「ももこ」が大好きです

いこともありました。また園長、主任など運営にかかわる職員は、日曜日であろうとコロナの対応に出動しなければならぬことも多く、気持ちが休まらない日が続きました。

コロナ禍で、勤務体制の変更など仕事が大変になっているのに園や都の対応には悲しくなることもあります。私たちの仕事をきちんと認めていただき、どの園も安心して運営できる制度になってほしいです。

(陽光保育園保育士 若林雪子)

えた分の職員配置ができるよう、保育園独自の努力だけでなく制度として公的に保障してもらいたいと思います。

練馬区のガイドラインが変更されてからは感染者が出て休園することなく開園を続けています。昨年度は乳児クラスの保育参観が中止となりましたが、今年度は予定通り保育参観を行う保育園の様子を見ていただければ幸いです。

(北町保育園園長 下堂前真美)

●板十小あいキッズ●

少ない職員で助け合い協力し合って

猛威を振るったコロナ禍。正直に言葉にすれば、その当時は思い出すと頭が変になりそうです。しかし、ただ大変だったと言うのは簡単。どんな風にも乗り切ってきたか振り返ってみたいと思います。

一番苛烈だったのは今年の8月ですが、このときはともかくコロナで休む職員の代替職員の確保に担当理事を中心にみんなで奔走しました。正規職員間で休日メール等で連絡を取り合い、次週体制を固めたものです。あまりにも少ない職員体制のなかで、臨時休所を考えたことさえありました。体制の弱まったなかで何か事件や事故が起こったときにその責任を負いきれないと怖くなったのです。

しかし、職員間で夜を徹して話し合い、自分の本来の休暇を出勤日に変えるなど、まさに助け合い、力を合わせて乗り越えたいと思います。どんなときも、信頼しあえる仲間がい

BOOKコーナー

絵本紹介⑥

陽光会法人本部 宗形博美

乳児へ

おててがでたよ

作：林 明子
福音館書店刊 / 20頁



すっぽりかぶった服から「ばっ」とおててがでて、次に「ばあー」とおかおがでて、もうひとつのおてて、あんだよ、あかちゃんが自分のからだの部分に出会っていきます。あかちゃん自身ができるうれしさや喜びが詰まった絵本です。

幼児へ

ぐりとぐら

作：なかがわりえこ
絵：やまわき ゆりこ
福音館書店刊 / 28頁



いつも仲良しで、お料理すること食べるのが大好きな野ねずみのぐりとぐら。森で見つけた大きな卵から大きなふわふわのカステラを作るお話です。森の動物たちみんなで分けて食べるシーンは、子どもに優しい心を育み、親子ともども、ほのぼのとあたたかい気持ちにしてくれます。

大人も

おいしいのぼうけん

作：浜田桂子
童心社刊 / 36頁



押し入れに入れられた2人の男の子が、押し入れの中の世界で、ねずみばあさんから逃げまわるハラハラドキドキの冒険物語。子どもも大人も、大冒険の世界へグングンひき込まれます。

●桜丘第一保育園●

シフトと体制表とにらめっこ

今年の春は休園する日々が続きました。区や保護者の方への連絡や、情報収集に追われる毎日、園長と2人で「春頃の記憶がないよね……」と振り返ることもあります。

現在も職員が感染者・濃厚接触者・体調不良で欠勤となってしまう日々が続く、私の毎日シフトと体制表とのにらめっこから始まります。急な欠勤が出たときには、ベテラン職員を頼りに担任ではないクラスへ配置したり、乳児クラスには昨年担任だった職員を配置したりと、子どもたちが安心してできる環境を考えています。

急な欠勤により遅番に穴が開いてしまうことも多くあります。そういった場合も、そういつた場合も、子どもたちが安心してできる環境を考えています。

(桜丘第一保育園主任保育士 相原達也)

●板十小あいキッズ●

少ない職員で助け合い協力し合って

猛威を振るったコロナ禍。正直に言葉にすれば、その当時は思い出すと頭が変になりそうです。しかし、ただ大変だったと言うのは簡単。どんな風にも乗り切ってきたか振り返ってみたいと思います。

一番苛烈だったのは今年の8月ですが、このときはともかくコロナで休む職員の代替職員の確保に担当理事を中心にみんなで奔走しました。正規職員間で休日メール等で連絡を取り合い、次週体制を固めたものです。あまりにも少ない職員体制のなかで、臨時休所を考えたことさえありました。体制の弱まったなかで何か事件や事故が起こったときにその責任を負いきれないと怖くなったのです。

しかし、職員間で夜を徹して話し合い、自分の本来の休暇を出勤日に変えるなど、まさに助け合い、力を合わせて乗り越えたいと思います。どんなときも、信頼しあえる仲間がい

戦争と私

そして未来へ

改憲・軍拡を阻止し、平和を守るため、声を上げつづけます

小林昭子

私は終戦2年前の昭和18年5月に東京市本郷区上富士見前、現在の文京区駒込で生まれました。当時父は駒込で寿司屋を営んでいましたが、戦争で職人が招集され、商売どころではなくなり、昭和19年6月に板橋区幸町に引っ越してきました。幼かった私と病弱だった母は新潟の実家に疎開させられ、昭和20年3月10日の東京大空襲や4月13日の大山大空襲にはあわずに済みました。大山大空襲ではB29の50キロ爆弾や数百発の焼夷弾が落とされ、死者・負傷者ともに多数、全焼家屋も多く、甚大な被害をうけたとのこと。幸い我が家は、隣の空き地に焼夷弾が落ちて大事にはいかなかったとのこと。

毎年8月15日の終戦記念日に大山公園で不戦のつどいが開催されます。戦争孤児など約2,700人が当時養育院の敷地内だった大山公園あたりに埋葬されているとのこと。今年も猛暑のなか開催され、約80名の参加者がありました。1日も早く慰霊碑が建立され、戦争による悲劇が繰り返されないことを祈って黙禱し、献花台に花を手向けました。

2019年2月に陽光保育園元園長、卒園父母とその娘、そして私の5名で非暴力の戦いを学ぶ沖縄の旅に参加しました。最初に、琉球新報社で記者の方から沖縄の戦前・戦中・戦後のお話を聞きました。1972年5月15日、沖縄県民悲願の本土復帰しても「核抜き・本土並み」には程遠く、基地による被害は続き、沖縄の人々の苦難の歴史を知ることができました。沖縄国際大学の米軍ヘリ墜落現場、米軍ヘリの落下物があつた保育園周辺、宮森小学校の米軍機墜落事故現場等を見学し、子どもたちの頭上を我が物顔で飛び回る米軍機の多さに怒りを覚え、危険と隣り合わせの中でもたくましく生き抜く姿に感動し、3,000日を超えた辺野古埋め立て反対の座り込みにも参加してきました。

忘れもしない2015年9月19日、当時の安倍政権は違憲の集団的自衛権の行使などを可能にする安保法制・戦争法の成立を強行しました。私は連日連夜、国会前のデモに参加し、若者たちとともに声を上げ続けました。戦後70年、1人の犠牲者も出さずにこられたのに戦争する国に変える暴挙に、怒りで体が震えました。今後も、改憲・軍拡を阻み、日本の平和を守るために、おかしいことはおかしいと声を上げ続け、後に続く世代のために頑張りたいと思います。(板橋区在住)

子そだて奮闘記

お世話してあげたい妹 vs 自分でやりたい妹

4歳の男の子と2歳の女の子と毎日てんやわんやで過ごしています。

自我が芽生えて、主張が増えてきた妹……。タイトルのとおり、お世話してあげたい兄と、自分でやりたい妹のすれ違いの戦いが毎日勃発しています。

例えば納豆を食べるとき。子どもたち、納豆が好きで、1人で1パックペロリなんですが、以前は納豆の蓋やフィルムを剥がすのを妹はお兄ちゃんにやってもらっていました。

お兄ちゃんも「見てて。ゆっくり剥がすとキレイに取れるでしょ」と優しくレクチャー。ほほえましい光景でした。

ところが、最近はお兄ちゃんが納豆の蓋を開けてしまつと、「自分でー。さっちゃんの一」と妹が主張。納豆の開封、やってみると……、できた☆

そうなる、タシも開けたい、混ぜたい！ たくさんの「自分でー」が出てきます。一方、お兄ちゃんは、妹の成長を喜ぶときもありますが、やってあげたい気持ち強い場合は妹の主張を無視して最後までお世話してあげてくれます。

お兄ちゃんにやってもらった場合は、妹は「自分でー」を連呼しながら涙……。そして、納豆の取り合い開始です。

お互い良いことをしてくれているので、そっと見守るケースも多いですが、納豆の場合は、後片付けが大変です(笑)。

今は、お互いの気持ちが通わないことも多いのですが、今後どんな関係になっていくのか楽しみです。

そして、そんな光景を見ながら、私も2人の子どもにやってあげちゃうことが多いなど反省します。例えば納豆のタシ、上手に開けられないだろうと勝手に手伝わっていました。子どもにまかせるのがイキイキしていました。

まだまだ目の離せない2人ですが、「見守ること」を心がけて私も母親として一緒に成長できたいと思います。

(北町保育園3歳児クラス悠成・1歳児クラス咲奏の母 須藤紗希)